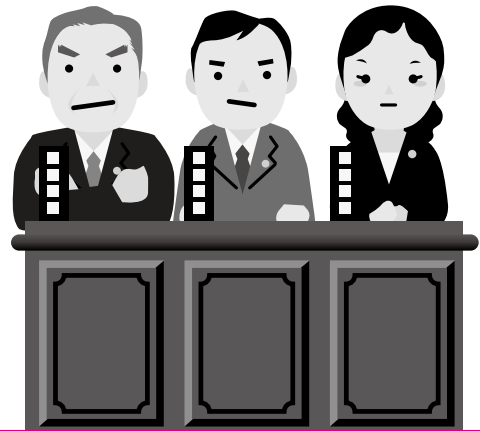


# 市政に対する

## 一般質問

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。



今定例会では、9人の議員が6月2日、5日、6日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に掲載します。

### 松田雅代議員

- 防犯カメラ設置について
- 済生会栗橋病院移転問題への対応について
- 小中学校の英語活動について
- 市内水路の管理について
- 幸手駅舎・自由通路整備事業について
- 市民まつりの産業振興的要素の拡充について

### 小林啓子議員

- 就学援助における「ランドセル等新入学児童生徒学用品費」の入学前支給を可能にするための対応について
- 訪問理容サービスについて
- 書籍消毒機の設置について

### 小林順一議員

- 災害時に避難所における飲料水などの確保について
- 市民の安心安全な暮らしについて

### 小河原浩和議員

- 幸手市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

### 大平泰二議員

- 市長の職責について
- 民間橋上駅舎問題
- 治水対策

### 大山重隆議員

- 全国（埼玉県）学力・学習状況調査について
- 幸手市の児童・生徒の学力向上への取り組みについて

### 宮杉勝男議員

- 幸手市に係る治水関係について

### 本田謡子議員

- 権現堂の桜を守り、未来へ繋げる施策について

### 武藤壽男議員

- 惣新田菅島地内の開発問題について
- 市長の職務職責と緊急事態に対する危機管理について

## 済生会栗橋病院移転問題への対応は万全か



松田雅代議員

**Q** 同病院移転問題が浮上して約一年が経過。今年5

月8日、県済生会支部理事会が同病院の機能を加須市に一部移転し、急性期病院を新設する整備の基本方針案を可決したと報道があった。

関係機関・自治体の協議が一定の現実味を帯びる中、情報の少ない市民から、市がどのような

に取り組んでいるのか、心配する声が上がっている。

幸手市は現状をどのように把握し対応しているのか。これまでの対応、市民への影響、今後の対応方針を伺う。

**A** 同病院の一部機能の移転については、新聞報道や栗橋病院あり方検討委員会議事録等により状況を把握してきた。

緊急時や通院等への影響から不安や心配の声もあり大変遺憾に

思う。現時点で財政的な支援については検討していない。今後は通院患者への支援について考慮をお願いしていくとともに、市民が適切な医療を受けられるよう市内医療機関を含め地域医療体制の充実を図る。

現在地に残るとされる施設の整備については、久喜市と済生会の協議の動向を注視していく。

(市長、健康福祉部長、  
総務部長)

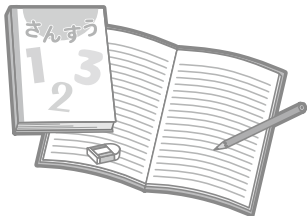
## 就学援助の新入学児童生徒学用品の対応は



小林啓子議員

**Q** 準要保護児童生徒に対する「新入学児童生徒学用品」の対応については文部科学省の通知に従い、

その単価の変更および入学前からの支給についても幸手市においても判断しているが、



平成30年度から実施できるよう、準備を進めることが重要と考える。

幸手市としての考えを伺う。

**A** 市では、今年度から新入学児童生徒学用品費に

ついては、平成29年3月31日の国の通知に基づき、単価の見直しを行い、幸手市就学援助費事務取扱要綱の一部改正を行った。また、小学校入学前の支給については、今後、申請時期の変

更、保護者の皆様への周知等について検討を行い、平成31年度の入学者からの実施に向けた準備を進める。

(教育次長)



災害避難所におけるお湯などの確保は



小林順一議員

**Q** 災害時には、その初期段階および避難所において飲料の確保が重要であり、無料で飲料を提供する災害支援型自動販売機で、特に災害対応型紙コップ式自動販売機は「お湯・お水」が提供出来るため、赤ちやんの粉ミルクの調乳やアルファ米の調理等に大きなメリットがある。

災害時に民間事業者との支援協定の内容を伺う。避難所や病院等に、お湯などの飲料を提供出来る対応型紙コップ式自動販売機の設置の災害協定を提案するが所見を伺う。

**A** 災害協定については、災害時、優先的な飲料水の提供や災害対応型自動販売機内の在庫製品の無償提供について3社と締結している。また、応急生活物資の提供について2社、

人員・物資の輸送や公共施設の電気設備の復旧、応急修理、応急仮設住宅に関する協定など14団体と締結している。

今後、既に締結している飲料水メーカー3社が、お湯なども提供できる自動販売機を取り扱うようになれば、これも含めた災害協定を締結していきたい。

(市民生活部長)

幸手市のシティプロモーション強化策を提案



小河原浩和議員

**Q** 幸手市の市政や施策を広く市民の方々に広める方法として、「広報さつて」や区長会の皆様のご協力や回覧板等でお知らせをしているが、なかなか若い年代層の市民には伝わりにくいと思う。

そこで、若い年代層の方に身近なSNS（フェイスブックやツイッター）を活用し、市から

のお知らせやイベント情報、さまざまなお願い、実際に市が行っているさまざまな活動等を動画を通して配信し、リアルタイムで、より多くの人たちに幸手市を知って頂いてはいかがか。

**A** 幸手市では現在SNSではなくホームページを活用することでネット上の情報発信をしている。SNSやホームページで大切なのは、いかに最新の情報を即時に発信し、また

は更新するかということである。SNSについては導入も含めて検討していく必要があるが、併せて、現在ホームページについても即時性を担保するため、各課の更新依頼を受けて秘書室が一括して更新する方法から原課が直接更新する方法に変更することを検討しているところである。

(総務部長)

議会展期中の市長海外旅行は認められない



大平泰二議員

**Q** 議会展開中の平成25年9月16日～18日の間、東南

アジア（タイのバンコク）に行っていたとの市民からの訴えがある。調査によると、この期間には、市長車両を使用していないし、市長の予定表も常任委員会出席となっているが所在不明である。

議会の招集責任者が、議会に

断りもなく、不在となることは認められない。パスポート開示を求める。またパスポートを処分したのであれば、入管法第60条で本人の出入国記録の開示請求ができる。市長の身の潔白を証明せよ。

**A** 平成25年9月16日から18日は、公務日程がなかった。

資料がないため所在についての詳細な確認は出来ない。

（市長）

また、常任委員会出席の表示については、予定表の管理システム上、未決の場合は、出席の表示仕様となっている。

パスポートの開示およびパスポート切り替えに伴う出入国記録の開示請求については、個人情報情報の観点および議会展中に海外旅行に行ったことはないのので、開示および開示請求を行うことは考えていない。

小中学生の学力低下の原因（全国学力調査）



大山重隆議員

**Q** 幸手市内の小中学生の学力低下が市民の間で話題となつている。全国・埼玉県学力調査によると、最終学年である中三生の英語・数学の学力が著しく低下している。全国平均より十点（百点満点）低い。早急の対策が必要である。ここ四年で急激に下がっている。分析すると中一段階での英数学学習過

程でのつまずきがあり原因となっている。最も効果的（研究による）方法は「習熟度別少人数学習」であり、中一段階より早急に取り入れる必要がある。

**A** 平成26年度以降の調査結果は本市と全国平均との差が開く傾向にある。その要因は、教育委員会による学校訪問指導や授業改善の見届けの不足、教育支援員等の人的サポート不足、市内統一テストの未実施な

ど環境整備の不足がある。また、学校は、生徒指導と授業改善の取組の課題、児童・生徒は、学習への関心・意欲の低さ、発達段階に応じた家庭での学習習慣の未定着などの課題がある。これらが相乗的・複合的に関連しており、今回の結果の要因ではないかと考えられる。

（教育長）

幸手市に係る治水関係



宮杉勝男議員

**Q** 大雨の時の浸

水被害を軽減するためには次の事を伺う。  
 (1) 香日向から中川へ排出している所のポンプを大きくして、幸手市内に入る水量を減らすこと



はできないか。  
 (2) 市内の田んぼに、一時的に雨水を保水してもらうことはできないか。

(3) 主流の河川に流入している所の効率性について、専門機関にて調査することは可能か。  
 (4) 大島新田や首都圏外郭放水路の越流堤は、建設当初と同等の役割が果たしているか。

落からの排水を取り込むことは困難のため市内への水量を減らすことは難しいと考えられる。

(2) 耕作されている方の理解が必要と考えている。今後、一時的な保水についての可能性を検証していく。  
 (3) 今後検証をしていく。  
 (4) 建設当初と同等の役割を果たしているものと考えている。

(建設経済部長)

権現堂の桜を守り、未来へ繋げるために



本田謡子議員

**Q**

近年、桜の木の生木が、外来種のカミキリムシの食害により枯死となり、伐採されるという桜の危機に面している。そこで、桜を守る木のお医者さん「樹木医」に対する考えと、幸手の貴重な財産である桜を守るための市の責任を伺う。

**A**

幸手市では、外来種のカミキリムシによる桜の被害は、現在確認されていないが、今後もし引き続き注視したい。

また、「樹木医」は樹木の診断や保護育成の専門家で、権現堂桜堤においては、管理者の日常的な桜の管理のほか、一部の業務を「樹木医」に委託することと、より効果的な桜の保護・保全を行なっている。

市では、権現堂桜堤の桜を貴重な地域資源として、後世に引

き継いでいく責任があるものと考えている。

(建設経済部長)



## 6月定例会 会期日程

- 6月1日(本会議)
  - ・開会・会期の決定・報告事項
  - ・市長提出議案一括上程、提案理由説明
- 6月2日・5日・6日(本会議)
  - ・市政に対する一般質問
- 6月12日(本会議)
  - ・議案に対する質疑
  - ・議案の委員会付託
- 6月13日(委員会)
  - ・総務常任委員会
- 6月14日(委員会)
  - ・文教厚生常任委員会
- 6月15日(委員会)
  - ・建設経済常任委員会
- 6月23日(本会議)
  - ・委員長報告、質疑、討論、採決
  - ・閉会

### 6月定例会

#### 傍聴者

38人の方が傍聴されました。

議会インターネット中継のアクセス件数  
インターネットを利用した議会中継  
(ライブ及び録画)を行っております。

4月	161件	5月	188件	6月	2251件
----	------	----	------	----	-------

の方が視聴されました。

## 9月定例会のお知らせ

9月4日開会予定です。

詳しくはホームページをご覧ください。  
<http://www.city.satte.lg.jp/>

## 議会を傍聴しませんか

議会では日常生活にかかわる条例や事業の予算などを審議し、決定しています。ぜひ、傍聴にお出かけください。

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ(インターネット映像配信システム)でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 6月定例会の会議録は9月上旬頃公開予定です。



武藤寿男議員

## 市長の職責と国内不在時の危機管理は

**Q** 市長は多くの市民の信頼を基に選出され、五万余

の全市民の生命と財産を守り、子どもたちと市の将来を担う極めて重い責任を、一寸たりとも休むことなく、常時有されている。

近年、自然災害・社会的災害を始め、ことある時の市民を守る危機管理の重要性が求められ

ている。

唯一の責任者たる市長が、国内に不在の場合の危機対応は十分か何う。

また、平成27年7月以降二回海外に行かれたと言われたが、昨年8月何処に行かれたか何う。

**A** 市長は、危機管理に関する最高責任者であり、自

然災害や危機発生時においては、的確かつ迅速に対応するため、状況に応じた対策本部を設置し、

対応方針の決定、危機管理活動体制や情報管理体制確立のための指示命令を行い、必要に応じ関係機関への支援要請等を実施する。

緊急情報を迅速に市民へ伝達する体制の整備や、休日等における連絡体制の整備により、今後も緊急事態への対応に努めていく。

平成28年8月の渡航先は台湾である。

(市長、総務部長)